

アンケート結果

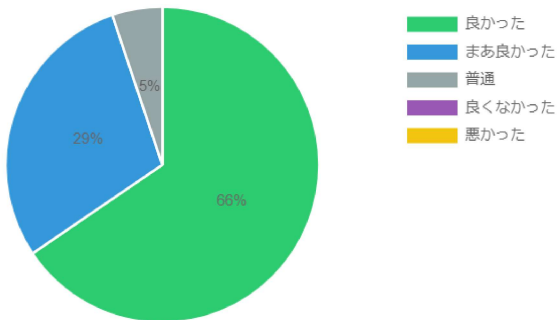
この度は水産増養殖産業イノベーション創出プラットフォーム サーモン・陸上養殖サブプラットフォームが開催した勉強会にご参加いただき、誠にありがとうございました。

今回の講演に関するご意見をお聞きするとともに、今後、会員の皆様と意見交換すべき課題を把握するため、アンケートを行いました。その結果を集計しましたので、ご参考までに掲載いたします（回答数58）。

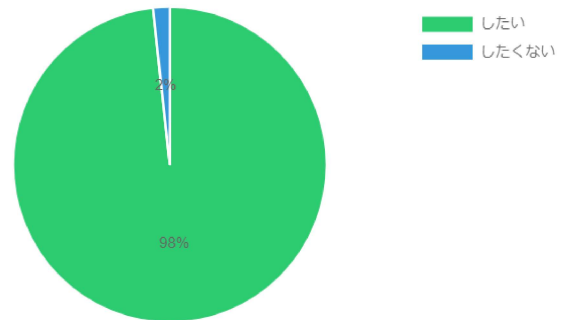
話題提供：（敬称略）

- | | |
|----------------------------------|---------------------------|
| 1. 境港における大規模沖合ギンザケ養殖とチリサーモン養殖の情報 | 日鉄エンジニアリング株式会社 清水貴広 |
| 2. 日本サーモンファームのサーモン養殖について | 日本サーモンファーム株式会社 野呂英樹 |
| 3. ホシガレイにおける閉鎖循環飼育の活用について | 水産研究・教育機構 東北区水産研究所 清水大輔 |
| 4. 循環式陸上養殖の現状と課題・留意点について | 水産研究・教育機構 瀬戸内海区水産研究所 森田哲男 |

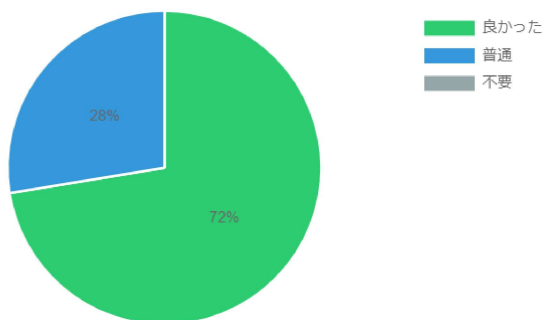
参加した感想



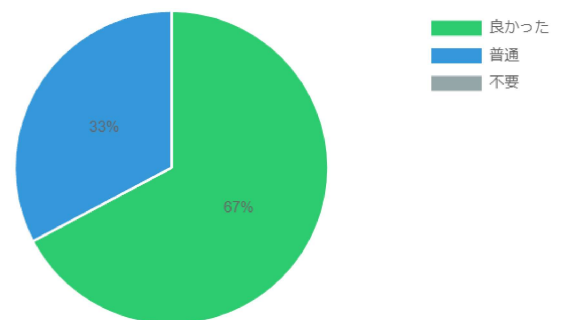
また参加したいか



事前に参加者からいただいた質問事項と回答について



質問事項から抽出して意見交換を進めましたがいかがでしたか

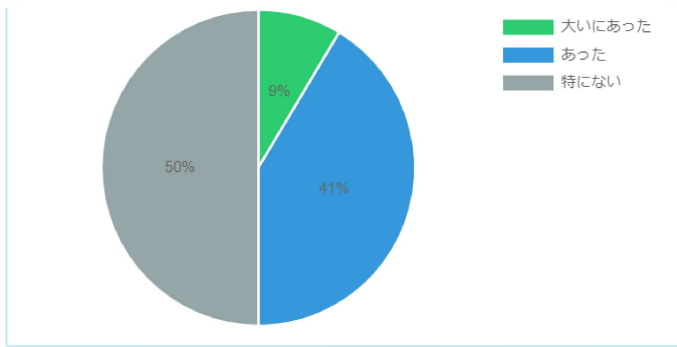


自社または自身のもつ技術で、サーモンまたは陸上養殖の分野に貢献できそうなものがありましたか

（この欄はアンケート結果の表示領域であり、本文には回答内容が記載されていません）

ご意見：勉強会の改善すべき点など

- » サーモン養殖と陸上養殖の勉強会を分離した方が、深い議論ができると思う。
- » 会場の参加者と講演者を交えた、自由なディスカッションの時間が欲しかった。
- » 種苗の生産から養殖、流通、消費までの広範な議論ができると良かった。
- » 参加者数に比して、勉強会会場や懇親会会場が小さかった。
- » マイクの音が聞こえにくい場面があった。



など

ご意見：今後のサーモン養殖について

- » 残餌や糞などによる環境負荷を低減させる技術開発をお願いしたい。
 - » 輸入卵に依存しないための親魚開発。
 - » 海外の情報についてもっと知りたい。
 - » 海面から魚病を持ち込むリスクの軽減が必要。
 - » サーモン養殖を国としてどう進めようとしているのか水産庁の考えを聞かせて欲しい。
 - » 育種の研究と育種した系統の維持について進めて欲しい。
- など

ご意見：今後の陸上養殖について

- » 実際に陸上養殖を行っている企業の収支、メリット、課題、改善方法などを聞きたい。
 - » 機構の閉鎖循環装置をパッケージ化し、各魚種の養殖技術とセットにして普及してはどうか。
 - » 今後は事業化を促進する取り組み（補助金の整備、水試等の指導体制の確立）を進める必要がある。
 - » 技術向上、コスト削減に加え、販売面まで考慮したモデル化が必要。
 - » さらに多様な産業からの参入により、技術が発展するのではないか。
 - » ランニングコストの低減、特に電気代をどう減らすか、技術的、制度的な取り組みが必要。
- など

〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3 クイーンズタワー B 棟15階
 国立研究開発法人水産研究・教育機構
 TEL 045-227-2620 FAX 045-227-2704
 メール：fra-sharen@ml.affrc.go.jp (@は半角に直してください)